資料６－７

７．防災拠点のネットワーク形成に向けた検討

（幹事機関：中部地方整備局）

防災拠点のネットワーク形成に向けた検討

幹事：中部地方整備局

【これまでの検討内容と今後の予定】

検　討　会

第１回（5/10）	①防災拠点のネットワーク形成にむけた検討会設立 ②防災拠点ネットワークの現状と選定手法を確認
事務局（６月）	③東日本大震災における広域防災拠点の状況を整理 ④中部圏における広域防災拠点の状況を整理
第２回（7/25）	⑤各防災拠点の機能を踏まえた広域防災拠点候補エリアの設定
事務局	⑥広域防災拠点（案）の考え方を整理 ⑦拠点の階層構造の必要性についての整理 ⑧拠点の役割・機能と必要な施設・設備の整理 ⑨必要面積、整備箇所数、候補地を検討
第３回（10/2）	⑩ 広域防災拠点の配置（案）の検討

検討会としての広域防災拠点配置（案）の策定

↓

中部圏地震防災基本戦略に位置づけ

↓

具体的な施設の整備方針（案）の策定
- 整備優先度
- 整備手法等
- 施設の平常時利用
- 首都機能のバックアップ等

← ・内閣府、関係自治体、施設管理者等と調整
・学識者等から助言

↓

中部圏広域防災ネットワーク整備計画の策定
（平成 25 年 3 月）

【広域防災拠点 配置の主な観点】

- ●交通の代替性が確保され、発災時の本部員の非常参集が迅速に行える
- ●広域の物流や部隊活動を考慮し、高速道路等のジャンクション、インターチェンジ周辺、港湾・空港周辺及び鉄道貨物ターミナル等へのアクセス
- ●既に共用されている県拠点やオープンスペースの分布状況
- ●津波浸水の可能性が低い地域